



「甲寅日帳」

香川郡東百相村

別所家文書

正法

一 碑

石上碑文... 碑文...

二 碑

碑文... 碑文...

碑文...

一 碑... 碑文...

碑文... 碑文...

碑文... 碑文...

碑文... 碑文...

碑文...

碑文...

碑文...

碑文...

碑文... 碑文...

碑文... 碑文...

碑文... 碑文...



香川郡東百相村 別所家文書

【資料名】 甲寅日帳 (資料番号 815) (複製本番号 167)

【解説】

香川郡東百相村・三名村・出作村 (現高松市仏生山町・三名町・出作町一帯) の三ヶ村の庄屋を勤めた別所家に伝わる資料。

嘉永七 (一八五四) 年十一月五日に安政地震が発生した。その直後、高松藩が郡内における怪我人や家屋等の具体的な被害状態を調べさせ提出を命じていた事がわかる。

【翻刻文】

一筆致啓上候然者 一昨五日晚より夜分大地震 二付郡内

転家并損所怪我人等有無大旨申出候様被仰聞

相尋候所転家百式拾軒位御座可在哉尚又損所怪

我人等者辺可在御座哉御申出致候程之義者無御座候前体郡内 二而も

下々郷より大野浅の辺迄者地震甚敷夫より上分山里等 二而者

順々ゆるやか 二御座候様子 二御座候右御尋 二付荒増為御注進候

如斯 二御座候以上

十一月七日

兩人